

令和6年度
博物館等施設事業
報 告 書

軽井沢町教育委員会

目 次

項 目	ページ
歴 史 民 俗 資 料 館 事 業 報 告	1
旧 近 衛 文 麿 別 荘 (市 村 記 念 館) 事 業 報 告	3
追 分 宿 郷 土 館 事 業 報 告	4
堀 辰 雄 文 学 記 念 館 事 業 報 告	7
軽 井 沢 町 植 物 園 事 業 報 告	9
室 生 犀 星 記 念 館 事 業 報 告	11
シ ョ ー ハ ウ ス 記 念 館 事 業 報 告	12
軽 井 沢 型 絵 染 美 術 館 事 業 報 告	13

令和6年度 歴史民俗資料館事業報告

1. 開館

期 間 令和6年4月1日（月）～令和6年11月15日（金）

（11月16日以降団体等の受入れあり）

休 館 日 毎週月曜日（7月15日～10月31日休館日なし）

燻蒸に伴う臨時休館（6月10日～16日）

2. 入館者数

令和6年4月1日～令和7年3月31日：2,986名（前年比 △982名）

3. 事業内容

（1）常設展

「道の文化史」を基本テーマに据え、第1展示室は「道の文化史と軽井沢」第2展示室は「別荘の沿革・別荘と文学活動」、第3展示室は「高冷地のくらしと民具」のサブテーマに沿った資料を展示。また、杉浦非水・翠子夫妻の資料や中国陶磁器（吉沢三朗記念館）も展示。

（2）秋季特別展

・「ポール・ジャクレー展」～軽井沢を愛したフランス人浮世絵師

ポール・ジャクレー 木版画展～

・期 間 9月1日（金）～10月31日（火）

（3）文化講座

①カナダ人宣教師『日本での百年』明治・大正期を中心に

・日 時 10月6日（日）午後1時30分～

・開催場所 中軽井沢図書館 2階 多目的室

・講 師 後藤 哲夫 氏（元山梨英和学院中学・高等学校教諭）

・参加者 40名

②峠の祭祀 古東山道、東山道を往く ～入山峠祭祀遺跡～

・日 時 3月22日（土）午後1時30分～

・講 師 櫻井 秀雄 氏（県立歴史館考古資料課長）

・参加者 52名

（4）歴史体験講座

「盆栽講座」

・日 時 5月18日（土）午前9時30分～

・参加者 11名

(5) その他

- ・職員研修・諸会議等への参加
 - ・学芸員等視察研修(富山県立高志の国文学館)
 - ・県博物館協議会総会(伊那市立高遠町総合福祉センターやますそ)
 - ・長野県立歴史館講座、考古資料保存技術講習会(県立歴史館)
 - ・第2回及び第4回文献資料保存活用講習会(県立歴史館)
 - ・歴史民俗資料館等専門職員研修会(千葉県佐倉市 国立歴史民俗博物館)
 - ・県立歴史館春季企画展に関わる県内遺跡等勉強会(佐久市 文化財事務所)
- ・町内児童他研修・視察利用
 - ・軽井沢町職員新人研修、町内小中学校新任教員研修、ウイスラー生徒視察、町博物館等施設運営協議会視察、西部小学校教員研修
 - ・町内学校等の利用 中部小学校
- ・町内学校等「出前講座」関係
 - ・中部小学校 1学年国語科 「たぬきの糸車」(12月9日)
 - ・東部小学校 3学年社会科 「昔のくらしと道具」(3月11日)
- ・夏休みクイズ実施(児童・生徒用)
- ・町ホームページに記載(随時) ・「資料館だより」月1回更新
- ・収蔵資料: 22,018点
【うち本年度寄贈3件(21点)・購入7件(53点)】
- ・設備等の整備: 9件
男子トイレ照明不点修理、館内Wi-Fi設置工事、
民俗資料展示室クロス貼替修繕、電気温水器修繕、音声案内装置修繕、
展示室照明修繕、蛍光灯LED化修繕
- ・備品 デジタルカメラ、カメラスタンド購入

4. 今年度の評価(現状と課題)および今後の方向性

5年度開催の特別企画展「写真・ハガキで見る歴史展 軽井沢の今昔」が好評であり、6年度は企画展の実施がなかったため、大幅な来館者の減少につながったが、観光ツアー、職員研修、小学校の社会科見学などの団体の受け入れを積極的に行った。

また、開催した2つの文化講座「カナダ人宣教師『日本での百年』明治・大正期を中心に」と「峠の祭祀 古東山道、東山道を往く ～入山峠祭祀遺跡～」は好評であった。

今後も所蔵資料の公開を進め、魅力ある博物館運営に取り組むとともに、出前講座についても積極的に行い、地域の担い手となる子どもたちにとって地元の歴史や文化を学び考えることのできる身近な施設となるよう事業展開を進めたい。

令和6年度 旧近衛文麿別荘（市村記念館）事業報告

1. 開館

期 間 令和6年4月1日（月）～令和6年11月15日（金）

（11月16日以降団体の受入れあり）

休 館 日 毎週月曜日（7月15日～10月31日休館日なし）

資料館燻蒸に伴う臨時休館（6月10日～16日）

2. 入館者数

令和6年4月1日～11月15日： 2,984名（前年比 △230名）

3. 事業内容

（1）常設展

・建物は元近衛文麿の別荘で、親交のあった政治学者の市村今朝蔵・きよじ夫妻が購入し南原に移築された後、現在ある雨宮池の東端に移築し、市村家のご遺族より町に寄贈された。避暑地軽井沢と、大正時代の和洋折衷の洋風建築への理解を深めるために公開している。近衛文麿や土地にゆかりのある雨宮敬次郎、市村夫妻に関する資料を常設展示している。

・展示物 近衛文麿、雨宮敬次郎、市村今朝蔵・きよじ関連資料、掛軸、愛用品、南原思い出のアルバム、移転の記録等の展示

（2）蓄音機で聴くレコード鑑賞会（講師 三浦武 氏）

①第1回

・日 時 6月23日（日）午後2時～

・参加者 41名

②第2回（会場：旧雨宮邸ギャラリー蔵）

・日 時 11月17日（日）午後1時30分～

・参加者 37名

（3）その他

・町ホームページに記載 ・「資料館だより」月1回更新（随時）

・収蔵資料：109点

・設備等の整備：2件

外壁修繕、カーテン補修

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

建物使用者の歴史に加え、避暑地軽井沢の建築を肌で感じることができる施設の一つとなっており、環境を生かした結婚式の前撮り希望も多い。

今後も建物の保全及び周辺整備、情報発信に努めていく。

令和6年度 追分宿郷土館事業報告

1. 開館

期 間 令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）
休 館 日 毎週水曜日（7月15日～10月31日休館日なし）
燻蒸に伴う臨時休館（6月10日～16日）

2. 入館者数

令和6年4月1日～令和7年3月31日：8,210名（前年比△662名）

3. 事業内容

（1）常設展

追分・軽井沢町西地区の資料等を展示し、江戸時代を中心に古代から現代までの歴史を紹介。

（2）企画展

①「江戸時代のトラベルガイド」

・期 間 3月11日（月）～7月15日（月・祝）

②「奇才！ 河村目呂二のアーティスト人生

～大正モダンの東京から戦後追分での日々～

・期 間 7月20日（土）～9月16日（月・祝）

③「稲垣黄鶴 書の世界 ～野の花と小鳥の声とこの静けさに～」

・期 間 7月2日（火）～10月31日（木）

・会 場 離山公園旧雨宮邸新座敷

④「写真で見る追分宿 明治～令和」

・期 間 9月21日（土）～令和7年3月31日（月）

（3）散策会

①春の散策会

・日 時 令和7年3月23日（日）午前10時～12時

・講 師 郷土館学芸員

・コ ー ス 追分宿（『新編 軽井沢文学散歩』の追分コースを散策）

・参 加 者 25名

（4）各種講座等

①古文書講座

・日 時 8月11日（日）基礎編：午前10時～ 中級編：午後1時～

・講 師 深谷 大 氏（日本文化研究者・早稲田大学演劇博物館招聘研究員）

・参 加 者 基礎 10名 中級 6名 計 16名

②教養講座1

・日 時 7月27日（土）午後1時30分～

・演 題 「追分の自然に曾祖父のまなざしを感じて

～マルチアーティスト河村目呂二の素顔～」

・講 師 内山 舞 氏（河村目呂二 ひ孫）

・参 加 者 32名

③教養講座2（気象庁職員の出前講座）

・日 時 8月10日（土）午後1時30分～

・演 題 「気候変動と大雨による災害について」

- ・講師 須山 英典 氏（長野地方気象台 防災管理官）
- ・演題 「最近の地震について」
- ・講師 小林 昭夫 氏（長野地方気象台 火山防災官）
- ・演題 「浅間山の今の状況と火山防災の日について」
- ・講師 飯島 聖 氏（気象庁浅間山火山防災連絡事務所 所長）
- ・参加者 17名

④教養講座3

- ・日時 12月15日（日）午後1時30分～3時
- ・演題 「軽井沢の消えた史跡遺産－近衛山荘と浅間庵－」
- ・講師 大久保 保 氏（軽井沢町文化財審議会 会長）
- ・参加者 15名

⑤軽井沢リゾートコンサート

- ・日時 9月16日（月・祝） 午前11時～11時30分、午後2時～2時40分
- ・演奏者 彩美歌
高島敦子氏（ソプラノ）・木下泰子氏（メゾソプラノ）・三宮美穂氏（メゾソプラノ）
- ・参加者 59名

⑥和楽器のコンサート

- ・日時 11月3日（日・祝） 午後1時～2時
- ・演奏者 「こといろ」の皆さん（箏・尺八・十七弦）
- ・参加者 35名

（5）子ども歴史体験講座

①夏休み子ども歴史体験講座

- ・開催日 7月30日（火）・8月1日（木）・5日（月）・7日（水）・9日（金）・18日（日）
- ・講座名 お点前に挑戦・はた織り体験をしよう・籐でかごを作ろう・竹風鈴を作ろう・縄文土器を作ろう・お天気と火山体験教室・七宝焼きを作ろう・まが玉を作ろう・黒耀石でペンダントを作ろう 9講座
- ・参加者 246名

②春休み子ども歴史体験講座

- ・開催日 3月20日（木・祝）、21日（金）・24日（月）
- ・講座名 はた織り体験をしよう・籐でかごを作ろう・まが玉を作ろう・お点前に挑戦・黒耀石でペンダントを作ろう・昔のあそびで楽しもう 6講座
- ・参加者 132名

（6）追分節後継者育成事業

追分節保存会の指導により、追分節隊の活動を5月より月2回開催。
追分節隊員 12名

（7）その他

① 職員研修・諸会議等への参加

- ・学芸員等視察研修（富山県立高志の国文学館）
- ・令和6年度県博物館協議会
総会・研究協議会（伊那市高遠町総合福祉センターやますそ）
- ・文献史料保存活用協議会総会（県立歴史館）
- ・第19回無形民俗文化財研究協議会研修会（東京文化財研究所）
- ・第2回・3回文献史料保存活用協議会講習会（県立歴史館）
- ・博物館関係職員等研修会（県立歴史館）

② 学校教育等の利用（館内見学・体験講座・追分散策 等）

- ・ 軽井沢町新人職員研修、鷗友学園女子中学校 1 年生、文教大学文学部 1 年生、流通経済大学、博物館等施設運営協議会視察、愛国中学校 1 年生、
- ・ 佐久地区教職員研修（見学・宿場散策）
- ・ 軽井沢中学校 1 年生「軽井沢学」
- ・ ウィスラー受入事業視察（宿場散策、まが玉作り）
- ・ 軽井沢西部小 4 年生 「軽井沢の伝統民謡 追分節・郷土の偉人」
- ・ 〃 〃 「追分節体験」※出前講座 追分節保存会協力
- ・ 〃 〃 「軽井沢の伝統工芸と伝統建築」
- ・ 〃 3 年生 「昔の道具とくらし」

③ 館内展示クイズ実施（児童・生徒対象） 7 月 27 日～8 月 31 日

④ 町ホームページに記載（随時） ・「郷土館だより」を月 1 回更新

⑤ 収蔵資料：12,768 点

⑥ 設備等の整備：6 件（トイレ改修工事、収蔵庫内エアコン設置、消防設備不具合修繕、事務室流し台修繕、防犯カメラ不具合修繕、1 階ホール FF ストープ修繕）

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

- ・ 令和 5 年度に町無形民俗文化財に指定された「追分節」の後継者育成事業として、「少年少女追分節隊」の活動を再開したが、コロナ前ほど児童が集まらない状況にある。追分節保存会や軽井沢御神楽保存会（熊野皇大神社太々神楽）と連携を図り、児童館での「放課後子ども教室」をはじめ子どもたちに親しんでもらう機会や発表の場を設け、町無形民俗文化財の後継者育成を進めていきたい。
- ・ 追分にゆかりのある芸術家 河村目呂二の企画展を開催したところ、好評を得た。宿場資料を中心に展示している常設展示、江戸時代をテーマとした企画展に加え軽井沢や追分の人物や事柄を取り上げて魅力ある企画展を開催し、発信していきたい。
- ・ 夏休み、春休みを中心に小学生を対象とした子ども歴史体験講座を開催し、毎回好評を得ている。
マンネリにならないように新しい講座を加えながら、歴史体験と同時に博物館に親しんでもらう機会としたい。

令和6年度 堀辰雄文学記念館事業報告

1. 開館

開館期間 令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

休館日 毎週水曜日(7月15日～10月31日休館日なし)

燐蒸に伴う臨時休館(6月10日～12日)

2. 入館者数

令和6年4月1日～令和7年3月31日: 5,948名(前年比△793名)

3. 事業内容

(1) 常設展の開催

堀辰雄の「生涯と文学」を6ブロックに分け、各コーナーをパネル、収蔵する遺愛品、原稿、書簡、写真等の資料により展示して紹介。

(2) 特別企画展・企画展の開催

①企画展 「堀辰雄と古典文学の世界」

・期 間 令和6年3月16日(土)～7月7日(日)

②企画展 生誕120年 特別企画展「堀辰雄『幼年時代』の世界」

・期 間 令和6年7月13日(土)～12月27日(金)

③企画展 「小説『菜穂子』の世界」

・期 間 令和7年3月20日(木・祝)～7月8日(火)

(3) 講座等の開催

①野いばら講座

・日 時 5月26日(日) 午後1時30分～

・講 師 赤間恵都子氏(十文字学園女子大学名誉教授)

・参加者 23名

②緑陰講座(2講座)

第1回

・日 時 7月20日(土) 午後1時30分～

・講 師 堀井 正子氏(文学研究家)

・参加者 30名

第2回

・日 時 7月21日(日) 午後1時30分～

・講 師 大藤 敏行氏(軽井沢高原文庫 館長)

・参加者 21名

③堀辰雄を語る会

・日 時 10月26日(土) 午後1時30分～

・講 師 藤田 佑氏(相模女子大学日本語日本文学科専任講師)

・定 員 22名

③子どもの文学講座

夏休み子どもの文学講座「おはなしをつくって、雲型の本づくり」

・日 時 8月24日(土) 午前9時30分～

・開催場所 追分公民館

- ・講師 なおやマン氏・しま：アイ氏

- ・参加者 17名

春休み子どもの文学講座「おはなしの世界から飛び出そう～人形劇と飛び出す絵本～」

- ・日時 令和7年3月23日(日)

- ・講師 軽井沢町ボランティア団体「ほっとここあ」

- ・参加者 15名

(4) 朗読会の開催

秋の朗読会

- ・日時 10月19日(土) 午後1時30分～

- ・朗読者 軽井沢図書館ボランティア「オオルリ」

- ・定員 12名

(5) 軽井沢リゾートコンサート

- ・日時 9月22日(日) 午前11時～、午後2時～

- ・出演者 尾尻 雅弘 氏(ギター)、杉原 桐子 氏(ヴァイオリン)、
小野 恵美 氏(チェロ)

- ・参加者 77名

(6) その他

①職員研修・諸会議等への参加

- ・学芸員等視察研修(富山県立高志の国文学館)

- ・令和6年度長野県博物館協議会総会・研究協議会

(伊那市高遠町総合福祉センターやますそ)

- ・文学館協議会総会(日本近代文学館)

②学校教育等の利用

- ・町新人職員研修

- ・文教大学文学部1・2年生

- ・博物館等施設運営協議会視察

- ・ウィスラー受入事業視察

③町ホームページに記載(随時)「〇村だより」

④収蔵資料：9,450点 ※令和6年度「菜穂子創作ノオト」を新収蔵

⑤上皇上皇后両陛下ご来館

8月24日(土) 午後5時から6時

町長、教育長のお出迎えの後、館長、学芸員により企画展をご案内

⑥設備等の整備5件(管理棟展示室内窓の遮光カーテン設置、管理棟玄関外ダウンライト修理、
管理棟FFストーブ修理、女子トイレ手洗い温水器修理、展示等2階展示室LEDライトに交換)

⑦南東部分の隣接地の寄贈(472㎡)

4. 今年度の評価(現状と課題)および今後の方向性

- ・入館者数がコロナ前より少ないものの、徐々に増加している。講演会、朗読会、子ども向け講座等イベントの充実と新たな切り口による企画展を開催し、来館者増に繋げたい。

- ・開館から約30年余が経過し、展示棟・旧宅・書庫等が老朽化してきているため、早目の修繕に努める。また、隣接地の寄贈により館外の敷地が広がったため、展示と合わせて屋外も楽しんでいただけるよう整備を進める。

令和 6 年度 軽井沢町植物園事業報告

1. 開園

期 間 令和 6 年 4 月 1 日 (月) ～令和 6 年 12 月 25 日 (水)

休 園 日 令和 6 年 12 月 26 日 (木) ～令和 7 年 3 月 31 日 (月)

2. 入園者数

令和 6 年 4 月 1 日～12 月 25 日 : 9,276 人 (前年比 △585 人)

3. 事業内容

(1) 常設展

軽井沢高原に自生する植物を中心に、約 145 科 1,600 種類余の樹木や草花が集められ、生態的に無理なものは除き同じ科のものは一連の場所に比較検討できるよう植栽している。約 20,000 m²の敷地内には、園内隅々まで見学できる観察通路を設置。展示館では、軽井沢の四季の変化、軽井沢の注目すべき植物、軽井沢町植物園の保全への取り組み、植物研究史等を紹介している。

(2) 企画展

①写真展「花図鑑」

期 間 4 月 6 日 (土) ～12 月 15 日 (日)

②ミニ企画展「軽井沢で発見された植物」

期 間 4 月～12 月

(3) 講座等

①植物観察会

・期 日 4 月 14 日 (日) ～10 月 27 日 (日) 14 回

・参加者 269 人

②講演会

・期 日 9 月 16 日 (月・祝) 午後 1 時 30 分～

・講 師 練馬区立牧野記念庭園 学芸員 田中純子修士

・参加者 20 人

③中央公民館 軽井沢再発見教室 軽井沢の草花 講師対応

・期 日 7 月 9 日 (火)、10 月 15 日 (火)

・参加者 延べ 12 人

④軽井沢ゼミ 軽井沢で生息する植物 講師対応

・期 日 8 月 30 日 (金) 午後 1 時 30 分～

・参加者 生徒 13 人 引率教諭 1 人 計 14 名

⑤こもれびの街講座

- ・期 日 12月12日(木)等 計3回 参加者延25人
- ・内 容 町花サクラソウについて、植物の観察と名前調べ、
軽井沢で発見された植物

⑥ その他 講師対応 軽井沢観光ガイドの会、小諸市文化センター女性学級等

(4) 軽井沢に自生する植物等の系統保存

- ①園内植栽植物の維持管理、寄贈植物の受入れ等
- ②絶滅危惧植物を含む多様な生物が生息・生育する草地(自然園)の保全

(5) 植物園各種整備

- ①園内・自然園観察通路整備 ②展示館 高窓等清掃
- ③軽井沢町植物園の花 増刷(4刷)

(6) 軽井沢の植物調査

- (7) 研究協力 ・東京大学総合研究博物館 池田准教授 ・東京農業大学 宮本教授
・群馬県立自然史博物館

- (8) 著作活動 ・軽井沢の植物と町植物園 軽井沢高原文庫通信第103号(2)
・軽井沢で発見された植物について

- (9) 種苗配布 ・山野草のタネ配布 1,000袋 4月6日(土)～29日(月・祝)
・ユウスゲの苗配布 200株 5月4日(土・祝)
・山野草の苗配布 カワラナデシコ 100株 6月2日(日)

(10) その他

- ・町内外学校等研修・視察等利用
 - ・視察・研修 博物館等施設運営協議会視察
 - ・町内外学校等利用 南保育園、軽井沢風越学園、
小諸市教育支援センター、
 - ・就業体験 軽井沢高等学校
 - ・その他 春の軽井沢写生大会、ボランティア活動受入れ
- ・町ホームページ記載 「花だより」 凡そ毎週更新
- ・報道関係機関等への取材協力 見頃の植物や特性等の情報提供、問合せ対応
- ・収蔵資料：2,851点(植物種類数 1種類を1点として集計)

4. 今年度の評価(現状と課題)及び今後の方向性

軽井沢に遺された希少な動植物が生息・生育する自然園において、外来植物の駆除等を実施し、その影響を減少させることで、地域の多様な動植物の保全に取り組みました。

地域の植物園として、地域ゆかりの植物や希少植物の保全に向け、植物それぞれの生態的な特性を調査し、得られた結果を、植物観察会や就業体験等の様々な機会に広報し、また学習支援に活用することで、町民の方が誇れるような植物園づくりを継続的に進めていきたい。

令和6年度 室生犀星記念館事業報告

1. 開館

期 間 令和6年4月27日(土)～令和6年11月4日(月・祝)

2. 入館者数 (見学無料のため職員が把握できた人数)

令和6年4月27日～11月4日： 21,562名(前年比 +16名)

3. 事業内容

開館期間中、職員により苔等の整備及び建物管理を実施

- ・4月 水道開栓、清掃
- ・11月 水道閉栓、清掃(苔庭寒冷紗掛け)

4. 今年度の評価(現状と課題)および今後の方向性

入館者数が前年と比べ微増ですが増加しています。引き続き、室生犀星が自ら手掛けた美しい苔庭の維持管理に努めるほか、今後も館の魅力を伝える広報や町内の文化資源との連携を進め、来館促進を図っていきます。

令和6年度 ショーハウス記念館事業報告

1. 開館

期 間 令和6年4月1日（月）～令和6年11月4日（月・祝）
※期間中無休

2. 入館者数

※見学無料のため、人数集計なし

3. 事業内容

（1）ショーハウス記念館管理

ショー記念礼拝堂司祭と委託契約を締結し管理を実施

- ・契約期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ・受託者 軽井沢町大字軽井沢57番地1 司祭 箭野直路氏
- ・業務内容 施錠、窓等の開閉、館内外の清掃

（2）広報関係、広報誌、雑誌等への情報提供

- ・テレビなどの取材は、ショー記念礼拝堂とセットが多く箭野司祭に対応していただいている。

（3）その他

- ・施設・設備等の状況

ショーハウス記念館リーフレット印刷

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

ショー記念礼拝堂を訪れた方が入館しており、司祭により取材等の対応をしていただき円滑に事業が行われている。

施設維持については、予防保全による建物修繕を行うほか建物の周りの木の伐採など計画的に行う。

令和6年度 軽井沢型絵染美術館事業報告

1. 開館

期 間 令和6年7月1日（月）～令和6年11月4日（祝・月）

2. 入館者数

令和6年7月1日～11月4日： 717名（前年比 △116名）

3. 事業内容

（1）展示内容

テーマ：祈りとモチーフ

（2）その他

・施設・設備等の状況

6月 水道開栓、清掃、作品展示

11月 展示物撤収、清掃、水道閉栓

1月 展示物（着物）クリーニング

・施設広報

他文化施設のパンフレット配布の際に、併せて案内を実施

大賀ホールや美術館などにもパンフレットを配布し周知に努める。

・資料管理

歴史民俗資料館学芸員にて行い、保管は歴史民俗資料館の収蔵庫に保管

4. 今年度の評価（現状と課題）および今後の方向性

入館者の減少を受け、型絵染の魅力が伝わる展示や情報発信の工夫等を行い他、他の施設との連携を通じて利用促進を図っていきたい。